

不要な衣服 再利用へ回収

那賀高生、大塚製薬工場で



従業員から不要な衣服を受け取る那賀高生(右側) 〓那賀町小仁宇の大塚製薬徳島ワジキ工場

家庭で着なくなった衣服の再利用(リユース)活動「服活」に取り組む那賀高校(那賀町)エシカルクラブが、大塚製薬徳島ワジキ工場(同町小仁宇)で不要

な衣服の回収を行った。クラブが地元企業と連携して回収を行うのは初めて。部員7人が参加し、トラックヤードに回収コーナーを開設。午前11時半からの

1時間半で、ブルゾンやTシャツなど1464着が集まった。

クラブの豊川遙希代表(17)〓森林クリエイト科3年〓は「若い人向けの服をたくさん頂いた。きれいに洗濯して、校内外のイベントで譲渡したい」と話した。

徳島ワジキ工場は1989年の操業開始以来、廃棄物のリユースやリサイクルなど環境への配慮を重視した取り組みを続けており、2009年度には環境大臣表彰を受けている。

コートやスラックスなどを提供した高須賀義雄工場長(54)は「環境保護に向けた高校生の思いに共感した。今後も継続的に連携していきたい」と語った。2日にあった。(青木忍)